

## 事後評価結果（平成18年度）

担当課：北海道開発局建設部道路計画課  
担当課長名：山口 登美男

事業名：旭川・紋別自動車道（一般国道450号） 上越白滝道路	事業：一般国道 区分：	事業：国土交通省 主体：北海道開発局
起終点：自：北海道上川郡上川町字上越 至：北海道紋別郡遠軽町白滝	延長：	18.9km

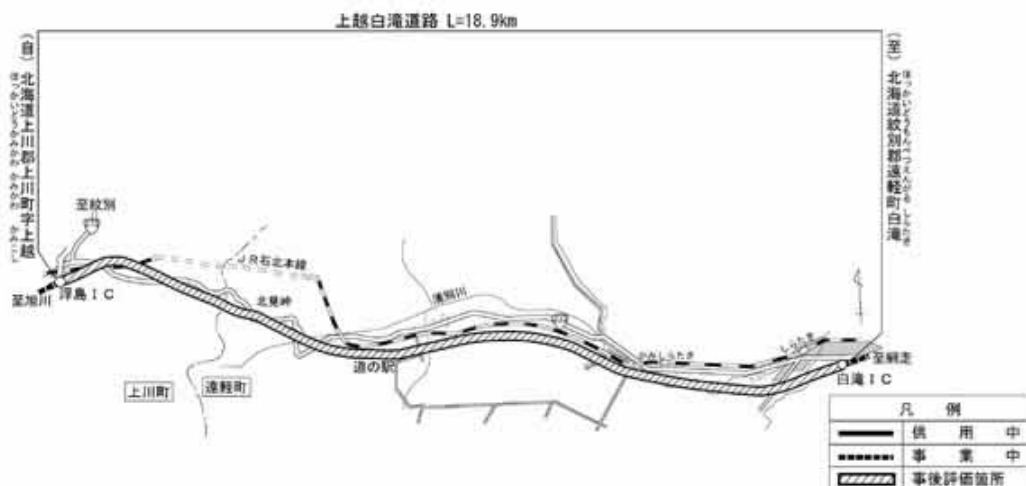
### 事業概要

旭川・紋別自動車道は、北海道縦貫自動車道比布JCTから、紋別市に至る延長約130kmの自動車専用道路であり、道央圏・道北圏とオホーツク圏を結ぶ高速交通ネットワークを形成する。このうち、上越白滝道路は、浮島ICから白滝ICに至る延長18.9kmの事業である。

### 事業の目的・必要性

上越白滝道路は、高速交通ネットワークの形成を効果的に実施するため、路線最大の隘路となっている北見峠区間を優先的に整備することにより、現道の代替路、農水産品の物流の効率化、観光等の交流促進などに寄与するものである。

### 事業概要図



事業の 効果等	事業期間	事業化年度：S63年度 都市計画決定：なし	用地着手：H2年度 工事着手：H2年度	供用年：(当初)H13/一年度 (暫定/完成)：(実績)H13/一年度	変： 動：1.0倍	
	事業費	計画時 (名目値) 815.4/-億円 (暫定/完成) (実績値) 815.3/-億円	実績 (名目値) 815.7/-億円 (暫定/完成) (実績値) 820.6/-億円		変： 動：1.0倍	
	交通量 (当路線)	計画時 (供用前現道) 2.814 台/日	実績 (当路線300号) 2.177 / 765 台/日		変： 動：1.0倍	
	旅行速度向上 (供用前現道→当路線)	38.6 → 60.4 km/h (供用前年度) H11年度 (供用後年度) H17年度	交通事故減少 (供用前現道→当路線)	36.7 → 13.8 件/億台キロ (供用前) H10-11年度 (供用後) H16-17年度		
	費用対効果分析結果 (事後)	B/C: 1.3	総費用: 1,219億円 事業費: 1,149億円 維持管理費: 69億円	総便益: 1,526億円 走行時間短縮便益: 1,334億円 走行経費減少便益: 150億円 交通事故減少便益: 42億円	基準年: 平成18年	
	事業遅延によるコスト増	費用増加額: - 億円	便益減少額: - 億円			
	事業遅延の理由	-				

	<p>客観的評価指標に対応する事後評価項目.....;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・上越白滝道路は、旭川圏の拠点都市である旭川市と紋別圏の拠点都市である紋別市を新たに連絡する高規格幹線道路「旭川・紋別自動車道」の一部を構成する。</li> </ul> </li> <li>●並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該区間の整備により、急勾配・急カーブが解消され、安全性が向上することにより、交通事故も減少した。また、頂上部の標高が約160m低下し、トンネル区間となったことから、冬期に強い高速交通体系の確保が図られた。</li> </ul> </li> <li>●農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上の状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該区間の整備により、主要港湾や札幌との高速交通体系が強化され、水産品の流通の利便性向上が図られた。</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: right;">他5項目について効果の発現が見られる</p> <p>その他評価すべきと判断した項目.....;</p> <p>特になし</p>
<p>事業による環境変化</p>	<p>環境影響評価に対応する項目.....;</p> <p>【騒音】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境アセスメントで予測した断面について、実測の結果、環境保全目標を満足している  実測値 昼間39dB 夜間34dB (環境保全目標：昼間65dB 夜間60dB)</li> </ul> <p>その他評価すべきと判断した項目.....;</p> <p>特になし</p>
<p>事業を巡る社会経済情勢等の変化</p>	<p>●人口・産業等の社会経済情勢の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線地域となる上川町、遠軽町の人口は減少傾向にある。  上川町 5,718人(H12)→5,176人(H17) 遠軽町 24,844人(H12)→23,635人(H17) 国勢調査</li> <li>・上川支庁・網走支庁の観光入込客数は、近年の「旭山動物園」の人気沸騰や世界自然遺産として登録された「知床」等の影響により増加している。  上川・網走支庁 2,380万人(H8)→2,897万人(H17) 北海道観光入込客数調査</li> </ul>
<p>今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性</p>	<p>上越白滝道路の整備により、峠部の線形不良などが解消され、交通機能の向上が図られるとともに、農水産品の物流の効率化や管内観光地へのアクセスが向上するなど、整備に伴う効果が発現されており、今後の事後評価の必要性はない。</p> <p>また、改善措置の必要性はないが、今後も利用しやすい道路環境の確保に努め、適切な維持管理を実施し、そのコスト縮減に努める。</p>
<p>計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性</p>	<p>特に同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性はない。</p>
<p>特記事項</p>	<p>特になし</p>

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。